*7月8日(火)14:30～15:10*

**岡田洋文氏来たる!**

『**公務員**2.0 ～ これからの時代に求められる,地方創生を担う地方公務員行政職とは？』

『「**丸み・軽やかさ・共感性**(RLG)」で地域の資源を活用しよう！』

***ExpertAdvisor***
***Naoya Takahashi***

***SpecialGuest***
***Hirofumi Okada***

***ExpertAdvisor***
***K.S***

智翠館特別コース探究スペシャル第４弾として，本校卒業生で現在大田市役所に勤務しておられる岡田洋文さんをお招きしました。

地元を愛し，地元に残って地場産業としての『石州瓦』を核とした地域振興に尽力してこられた道のりと苦労について語っていただきました。

今日はちょっと
斬新な企画を
用意してます!!

みんな楽しんでね!!

本コース探究学習のエキスパート高橋先生と石見銀山とその歴史に深く傾倒しているスーパー高校生（３年生）とで，三人による『地域力創造会議』を開催し，視聴している生徒たちと共に地域が抱える課題の共有と取り組みにおける広い視野と柔軟性の大切さを学びました。

# 生徒の感想より

私は金城に住んでいるので石州瓦は身近にあるけれど、いまいち魅力を感じたことはありませんでした。生まれてからずっとあるものだから、当たり前だし、なんなら古臭いと感じることが多かったのでリフォームしたいな、なんてことも思っていました。ですが、今日のお話を聞いてその古臭さも魅力だということがわかりました。小学生の頃から石見銀山などの歴史遺産に行くことがあったけれど、ただ行くだけではなんの学びも得られていないんだなと思いました。３年生の先輩が言っていたようにまずは歴史的背景を知った上で遺産の見学に行く必要があると私も思いました。地元の人がその観光地の魅力を知っていないと観光客の人にも何も伝わらないのでもっと地元愛のようなものを自分も持って行かなければならないと思いました。そのためにはもっと地元のことを調べてどんな価値があるのか探していこうと思います。島根のために何か変えようと努力されていることがよくわかりました。島根の未来のためにこれからも頑張ってください。よろしくお願いします。私も島根に貢献できることは少なからずあると思うのでそれを実行していきます。

地域振興について市役所の人は今日のように色んな視点で考えてらっしゃるんだなあと思いました。また先生との答弁では、提案された制作についてもいろんな観点、方向から成功させようとしているのが伝わってきてすごいなと思いました。正直地域振興の意識は低い方なのですが、市の職員の方が瓦といった分野でも市長と掛け合って奔走をされているのを感じ、自分にも何かアクションができたらいいなと思いました。

留学の経験をされていたり、企業勤めや公務員として色々な課で経験を培われ、経験の豊富さが凄いなと思いました。コミュニケーション能力の大切さについては、日々の生活の中でも嫌というほど聞かされるけど、やはり一番必要なのはコミュニケーション能力だということが改めて分かりました。

# 生徒の感想より

今回の探究授業を通して、「相手のことを考えた行動を心がける」、「諦めず、まず変えようと足掻いてみる」、悲観的にならず楽間的に考えてみる」の３つのことの大切さがわかりました。僕も一大田市民として大田市のことを誇りに思い、周りの友達などに魅力を伝えてみようと思いました。自分自身も大田市の魅力を１、２割程度しか理解できていないので、もっと積極的にリサーチや講習などを受けてみたいと思いました。子供から高齢者まで幅広い層に向けたPRをする必要があることがわかったので覚えておきたいです。石州瓦の良さを今日の探求授業を通じて理解できたので良かったです。
とてもためになる授業をしてくださりありがとうございました。僕は、岡田さんの話を聞き、過疎地域をどのようにして盛り上げるのか、考えることの難しさを学びました。一大田市民として、大田市を盛り上げていこうと思います。これからもお仕事頑張ってください。

近年では、瓦自体を見ることが少なくなってきていますが、瓦の良さを再評価し、利用するべきだと思います。瓦にしかない特長を活用しないのは、少しもったいないと思います。SDGsにも貢献しているこの地場産業の歴史がこれから先も続いていくことを心から願っています。

地元の良さについて改めて知ることができました。この辺りには特に目立った凄いものは無いと思っていたけど、赤瓦の街並みや石見銀山は誇るべき凄いものだということに気づくことができました。石州瓦は日本一硬い瓦ということを知って驚きました。その裏にはこの辺りの土が良かったり、熱に強い釉があったりという、この土地の凄さというのが隠れていました。島根や大田の良さがもっと広がるように頑張ってください。

# 生徒の感想より

岡田さんがインターアクトで実際にフィリピンに行って国際に興味を持ったと聞いて、自分もインターアクトでいろいろな経験ができるので、もっと行事などに参加するときはその行事に関連したことにも着目したいと思いました。またオフィス用品の販売をして社会の楽しさ、コミュニケーションの大切さ、自立する難しさを感じたとおっしゃていて、働くことには様々な意味があり、複雑なものなのだなと感じました。今回、石州瓦は硬い、材料の土がいいなどの石州瓦の特徴などをよりよく知りました。その石州瓦をどうやって日本全体に広めていくかには、その石州瓦の良さを知ってもらうのが大前提だと思いました。また3人の方々の話し合いを聞いて特に実感したのが、地域の文化をよりよく知るためにはその文化を見学するだけでなく、その歴史的背景なども知っておくべきだという意見でした。その点から文化のことを考えているのはすごいなと思いました。まずその「文化的なものに興味を持ってもらう、伝承する」には基盤の大事な背景を人々に広めていおくのだなと学びました。今回は主に産業などの話の概要などを話していただきありがとうございました。今日新しく学べたことはこれからの探究でさらに深めて行きたいです。

**地元にもそこに生きる我々一人一人の人間にも秘めたる良さがあるはずです。情報発信と対話の力でその良さを共有し，つながりを広げていくことで地域全体が発展していくアイデアや原動力が生まれるのではないかと思います。生徒のみんなも熱量を失わず、根気強く活動を続けていくことで道は開かれるはずです。共に頑張りましょう！**